

□永留 相互の利益相互の幸福を増進することを前提とするならば自制ある人ならざれば望み難し。先づ労働条件の意味を説明され度し。

□青柿 労働条件は種々あるも概括すれば唯二つ、即ち労働時間の伸縮と、最低賃銀の制定なり。而して最低賃銀の決定は物價指數の高低に據るものとす。

□永留 然りとすれば雇傭契約を結ぶ當時の賃銀に非らずと解すべきや。

□青柿 其時々に変動する物價の提數によりて定むるものです。

□永留 古くより居る人は一体如何になるや。

□青柿 同様なり。一般の物價が下落すれば古く居る人も下げる、物價を標準とせば生活の程度も同様なる譯なり。

□永留 然らば最低賃銀とは生活し得る丈の賃銀を指すものと解すべきか。

□青柿 然り。

□永留 夫も委員會に於て決定するものによ。

□青柿 私達は慾は言はない。最低賃銀を定め夫れにて人間らしい生活を営み得ば足れりと思ふ。

□永留 賃銀は何の標準によりて上下するや。

□青柿 能率に應じて。

□永留 能率を區別するに如何なる方法に依るや。人間の價値を評價するは頗るの難事ですネ。

□青柿 無論難事なり。委員制度によりて決定すれば可なりと思ふ。

□永留 然らば請負仕事は如何にするや、ピースウオークの單價を定むるには。

□青柿 英語は解りません。

□永留 ピースウオークの事は工場にて常に使用し居る筈なり。即ち鋸打ちにては何本打てば幾何、之れも委員會にて定むるや。

□青柿 請負の方も勿論委員會にて定むるなり。

□永留 其外の労働條件は。

□青柿 保健、衛生、危険防止……

□永留 夫は相違せり、労働條件には非らず。

□青柿 労働條件と做したきなり。危険防止も労働条件なり。ランチの危険の如き。

□永留 過目のランチの場合の如き危険防止に就ては會社は從來出來得る限りの事を爲し居るなり。

□永留 雇傭に關することも矢張り労働条件の内に入るものによ。

□青柿 團體交渉権、即ち我等が他の組合に加入することを承認され度し。然かすれば我等は之によりて解決し得ると思ふ。

□永留 會社は諸君が團體に加入することに就ては何等拘束せぬ筈なり。現に友愛會などに入會し居るに非ずや。

□青柿 要するに團體加入の權利を公認せられ度きなり。

□永留 會社は決して是迄までも職工の自由を束縛せざる筈なり。諸君が組合に加入するとは決して束縛せず。

□青柿 八百の職工が組織せる組合を會社が認めずと云ふは何等か會社に不利益の事あるによ。

□永留 利益、不利益の問題には非ず。諸君が他の組合に加入すると否とは固より諸君の自由なるも會社が其組合を認むると否とは別問題なり。過目に言へる如く社長が外國より歸らる、迄保留し置かる、方諸君の爲めに得策なりと信するが故に私は誠意を

披瀝して諸君に申し居るなり。今直ちに解決せよと云はる、も此問題は社長が歸へらる、迄待てぬと云ふ程焦眉の急を要する問題には非らずと思考す。

□山本重役 私社長は歸へらる、迄諸君が待たる、ことが利益なりと信するなり。此點は吳々も諸君より一同に能く説明されんことを切望す。

□青柿 私は今少しく理由を明白に説明せられんことを希望す。

□永留 今之を是非何うして呉れと言はる、ならば私は要求を御断りするより致方がない。社長は諸君も知らる、通りの偉い方なれば今私がお断り致すより更に諸君に有利の解決を得るの希望なきにも非らずと思ふ。

□青柿 私は誠意のある御説明を希望します。

□永留 私は過日來誠心誠意を以て諸君を迎へて居るつもりなるが社長の歸らる、迄二年三年と云ふ長き事にも非ず。僅々三四ヶ月の間なれば夫迄待たれたしと希望するなり。夫れにても待てぬと言はる、ならば私は断じてお断りするより他に道なし。

□青柿 解雇手當の點も改正せらる、ならば我等は安心して仕事に従事し得る譯なり。

□永留 解雇手當の問題よりも事業不振の折柄私は失業者を一人も出し度くないと誠心誠意心配し居るなり。

□青柿 能く承知し居れり。然らば社長の御手許迄我等の要求條件を傳達さる、ならば職工達も得心すること、思ふ。